



しもよねだ



No.14

学校の教育目標 かしこく(よく考える子) あたたかく(思いやりのある子) たくましく生きる子(強い体の子) 令和6年3月26日

学徳高き<津田左右吉博士>のふるさと下米田で、**健やかに育つ子ら!**

令和5年度 教育課程の修了に寄せて

校長 佐藤 亜紀

今か今かと春を待ちわびるかのように、校庭の桜の蕾がふくらみ始めました。花壇のチューリップも芽を出しています。本日、令和5年度の修了式を終え、明日からは令和6年度に向けた春休みがスタートします。



昨日、3月25日(月)、卒業証書授与式を挙行いたしました。藤井浩人美濃加茂市長様をはじめ、多くのご来賓の方々もお祝いにかけてくださり、保護者の皆様、5年生の子どもたちと共に、卒業生の門出を祝う厳粛な式となりました。限られた練習時間の中で、子どもたちは互いに教え合い、見事な所作を示すと同時に、「感謝の気持ちを伝えよう」という揺るぎない思いを共有した式典だったと思っています。

次を担う5年生の姿も立派でした。3月1日に実施した「ありがとうの会」の企画・運営を皮切りに、卒業式に臨む姿勢は、もうそこまで迫っている最高学年への入り口のドアを開け、一步を踏み出したと言えます。



そして本日3月26日(火)は、1年生から5年生は修了式であり、学級の解散式でした。22日の朝、「校長先生、あと2日で〇年生が終わっちゃう・・・寂しい・・・」と気持ちを呟く児童がいました。「楽しい学級だったんだね」と言葉を掛けると、「うん!」ととびっきりの笑顔を見せたその光景は、目に焼き付いたままです。

子どもたちと学級担任が創り続けてきたかけがえのない時間。そのひとつひとつの思い出を胸に、次への学年へと繋がっていくことでしょう。

「思いを馳せる(その人に思いを寄せる)」つまり、その人の気持ちを想像すること。そうすればおのずと自身の言動が変わってくると伝え続けた1年間でした。思うようにいかないこともたくさんあります。それでもお互い歩み寄り、言葉を交わすことで相手の気持ちに気付き、よりよい関係を築くことができた多くの経験は、必ず、社会に出た時にも自分の“武器”となり“魅力”になると信じています。純粋な本校の子どもたちだからこそ、成し得た力だとも思っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、今年度も本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りましたことを、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。学校の教育目標「かしこく あたたかく たくましく生きる子」の育成をめざし、これからも歩みを止めることなく、信頼と魅力ある学校をめざしてまいります。ありがとうございました。

